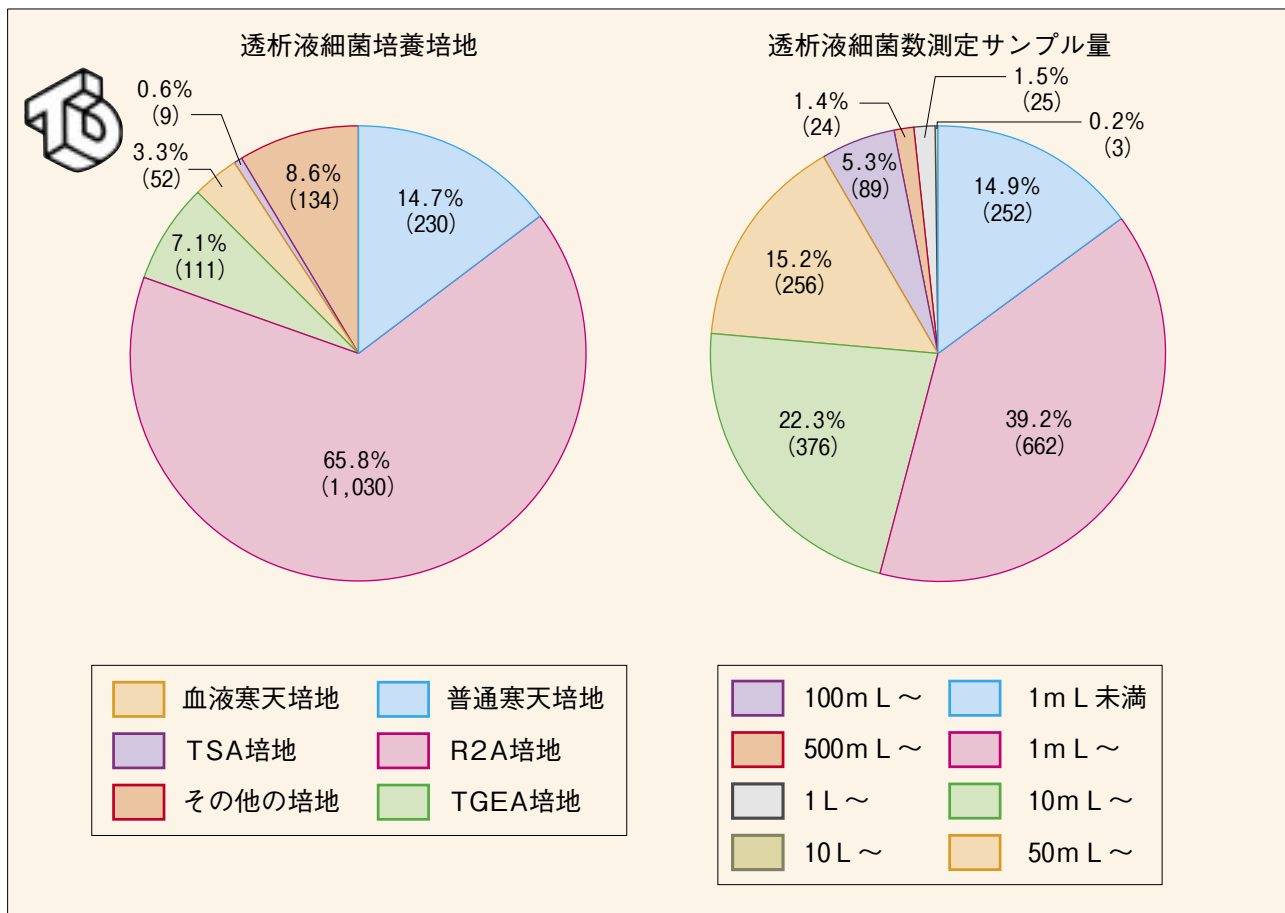


1) 透析液水質管理状況

(3) 透析液細菌検査 2) (図表24)



透析液細菌培養培地	普通寒天培地	R2A培地	TGEA培地	血液寒天培地	TSA培地	その他の培地	合計	不明	記載なし	総計
施設数	230	1,030	111	52	9	134	1,566	1,717	767	4,050
頻度 (%)	14.7	65.8	7.1	3.3	0.6	8.6	100.0			

透析液細菌数測定サンプル量	1mL未満	1mL ~	10mL ~	50mL ~	100mL ~	500mL ~	1L ~	10L ~	合計	不明	記載なし	総計
施設数	252	662	376	256	89	24	25	3	1,687	1,599	764	4,050
頻度 (%)	14.9	39.2	22.3	15.2	5.3	1.4	1.5	0.2	100.0			

施設調査による集計

解説

透析液細菌培養は貧栄養培地で行うことが推奨されているが、72.9%が貧栄養培地であるR2A、TGEA培地で行われていた。R2A培地は65.8%ともっとも使用頻度が高かった。通常平板培地の細菌検査のサンプル量は1mL未満であるが、超純粋透析液を担保する0.1cfu/mLは最低でも10mL以上のサンプル量が必要であり、45.8%の施設で10mL以上のサンプル量が検査されていた。